

上咽頭癌照射後再発への頭頸部アルミノックス治療に関する多機関共同観察研究

1. 研究の対象

2021年1月～2025年12月に国立がん研究センター東病院、国立がん研究センター中央病院、岡山大学病院、金沢大学附属病院、国際医療福祉大学三田病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東海大学医学部附属病院、東京医科大学病院、東京大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院、広島市立広島市民病院、広島大学病院、藤田医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、山口県立総合医療センター、横浜市立大学附属病院で上咽頭癌に対して光免疫療法（頭頸部アルミノックス治療）を受けられた方

2. 研究目的・方法

研究目的：上咽頭がんの放射線治療後再発・遺残に対する治療法としては、現在、放射線の再照射や抗がん剤の治療が行われています。放射線治療は治る可能性があるものの重篤な有害事象が一定の率で起こることが報告されています。抗がん剤による治療で上咽頭がんの再発・遺残が治る可能性は低いです。一方、最近は光免疫療法が保険診療として行われ、各施設の症例報告では比較的良い効果が報告されています。上咽頭がんに対する光免疫療法の効果と安全性を調べるため国内の多施設でこの臨床研究を計画しました。

研究方法：研究対象者の診療録から治療歴などの診療情報を抽出し、解析を行います。
予定症例数：約40例

研究実施期間：研究許可日～2025年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、手術記録、副作用等の発生状況、動画、内視鏡写真、CT/MRI画像等

試料：病理組織プレパラート、

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各研究施設の研究責任者が保管・管理します。

本研究で用いた試料・情報は一定期間保管後に個人が特定されないよう加工して破棄します。

国立がん研究センターが参加する研究の公開情報については国立がん研究センターの公式ホームページより確認することができます。

<https://www.ncc.go.jp/jp/>

5. 研究組織・研究責任者

研究機関名	所属	研究者氏名
国立がん研究センター東病院	頭頸部外科	篠崎 剛（研究責任者）
	頭頸部外科	西谷 友樹雄
先端医療開発センター	臨床腫瘍病理分野	坂下 信悟
国立がん研究センター中央病院	頭頸部外科	小村 豪
	病理診断科	森 泰昌
岡山大学病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	牧野 琢丸
金沢大学附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	遠藤 一平
国際医療福祉大学三田病院	頭頸部腫瘍センター	増淵 達夫
順天堂大学医学部附属順天堂医院	耳鼻咽喉科・頭頸科	大峽 慎一
東海大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	和佐野 浩一郎
東京医科大学病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	岡本 伊作
東京大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	齊藤 祐毅
浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	望月 大極
広島市立広島市民病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	皆木 正人
広島大学病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	樽谷 貴之
藤田医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	加藤 久幸
山口県立総合医療センター	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	竹本 剛
横浜市立大学附属病院	耳鼻いんこう科	佐野 大佑

試料・情報の提供元機関及びその長

広島大学病院病院長 工藤美樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

広島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 樽谷 貴之

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

電話：082-257-5252

Fax：082-257-5254